

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅲ-4-5 環境保全の推進
---------	-----------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	廃棄物対策課長 近藤 一幸	電話番号	0852-22-6173
----------	---------------	------	--------------

事務事業の名称	PCB廃棄物処理推進事業		
目的	(1) 対象	島根県内でPCB廃棄物を保管している事業者	
	(2) 意図	1. 保管中のPCB廃棄物を、法律で定める期限までに適正に処理させる 2. 保管中のPCB廃棄物が処理されるまでの間、適正に保管させる	
事業概要	【処理費用の助成】 費用負担能力の小さい中小企業者等が保有する高濃度PCB廃棄物の処理費用を軽減するための基金に対し補助を行う。 【制度周知】 未処理事業者に対しマスメディア等を通じた制度周知を行う。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	PCB廃棄物処理率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			式・定義	処理済みのPCB廃棄物量 / 処理開始前のPCB廃棄物保管量	目標値	25.00	0.00	25.00	
			実績値	25.00	0.00	25.00	15.00		
			達成率		0.00	100.00	60.00		%
指標名	適正保管率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
		目標値		100.00	100.00	100.00	100.00		%
式・定義	保管状況等届出事業場数 / PCB廃棄物保管事業場数	実績値	100.00	100.00	100.00	100.00		%	
		達成率		100.00	100.00	100.00		%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	4,324	6,536
うち一般財源 (千円)	127	0

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

【高濃度PCB廃棄物の処理状況】 未処理台数 / 進捗率 トランス類 2台 / 84.6% コンデンサ類 56台 / 95.9% 安定器等・汚染物 1,168台 / 91.0% ※平成26年12月末における推計。
--

6. 成果があったこと（改善されたこと）

過去4回に渡る重点搬入期間での取組により、把握している高濃度PCB廃棄物の処理は約9割の処理が完了した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
法令等で定められた処理期限までに残りの廃棄物を処理しなければならないが、県内廃棄物の処理が完了したとは言えない。
- ②困っている状況が発生している「原因」
・行政が把握しているが未処理であるもののほか、未届出の廃棄物が存在する可能性があること。
・使用中の機器についてはPCB特措法による届出義務等の対象外であること。
- ③原因を解消するための「課題」
・届出もれがないように法制度や対象機器についての情報を広く一般市民や事業者周知すること。
・未処理事業者を早期に特定し適正保管と早期処理を指導すること。
・使用中の機器について使用期限の設定などの法的な措置が必要であること。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

今後とも、環境省をはじめ地方産業保安監督部、JESCO等の関係機関と連携し未処理事業者の把握を行うとともに、保有事業者に対し適正保管と早期処理を個別に指導し、処理期限までの一日でも早い処理完了を目指す。
処理困難者や使用中機器への対応など今後見込まれる課題に対し、処理軽減制度の運用改善や法制度の改正を要望する。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）